

## ○ 委員長報告

9月定例会本会議で報告された文教警察委員長報告は、以下のとおりです。

平成29年9月定例会

### 文教警察委員長報告

報告いたします。

当委員会においては、所管事務について調査を行いました。

以下、調査の過程において論議された主な事項について、その概要を申し上げます。

まず第1点は、教員の負担軽減に向けた取り組みについてであります。

このことについて一部の委員から、文部科学省の来年度予算における教職員定数の増員要求の報道を受け、教員が児童生徒に向き合う時間をしっかりと確保するためにも教員の増員が必要と考えるが、県教育委員会として、どのように対応していくのかとただしたのであります。

これに対し理事者から、来年度の定数改善要求は、教員の働き方改革を進めるとともに、新学習指導要領に的確に対応するためのものと認識しており、今後の国の動向を注視しながら、適切に対応したい。

今年度は、小学校外国語活動の充実を図るための専科教員を3名増員したほか、通級指導教室の充実を図るため、新たに11名の教員を配置するなど、教育課題に対応できる教員配置を進めている。

また、学校現場の業務改善については、西条市と新居浜市でモデル事業に取り組んでいるほか、県教育委員会にワーキング・グループを設置して検討を進めており、こうした取り組みも含め、教員の負担軽減に努めていきたい旨の答弁がありました。

第2点は、学力向上の取り組みについてであります。

このことについて一部の委員から、今年度の全国学力・学習状況調査が、小学校4位、中学校5位と昨年度を上回る好結果であったが、学力向上の取り組みの成果をどのように受け止めているのかとただしたのであります。

これに対し理事者から、平成24年度から学力向上5か年計画に取り組み、各学校に学力向上推進主任を配置した組織的な対応や授業改善などを継続的に推進した結果が、全国上位の学力水準を維持することにつながったと受け止めている。

なお、今年度からの新たな3か年計画では、全国順位ではなく、基礎と応用のバランスの取れた学力を育成し、全ての調査区分で平均正答率が全国平均を上回ることを目標としており、児童生徒の授業の理解度が向上するよう授業改

善を進めるほか、学力向上推進主任への定期的なアンケート調査等を通じ、学校現場の声に十分耳を傾けながら、児童生徒や教員の過度な負担とならないよう配慮していきたい旨の答弁がありました。

第3点は、交通死亡事故の抑止対策についてであります。

このことについて一部の委員から、本年の交通事故死者数は50人を超えたが、今後の抑止対策にどのように取り組むのかとただしたのであります。

これに対し理事者から、死亡事故等重大交通事故の増加基調に歯止めをかけるため、8月21日から31日までの11日間、交通死亡事故多発緊急対策を実施した。

今後、交通死亡事故の発生を1件でも抑制し、犠牲者を最大限減少させることを目標に、交通事故分析により抽出した事故多発交差点等において、横断歩行者妨害や一時停止違反等の取り締りを強化し、交通弱者の保護の徹底を図るとともに、関係機関・団体等とも緊密に連携しながら、高齢の歩行者・自転車利用者一人一人に対する声かけにより注意喚起活動を展開するなど、交通事故抑止対策の推進に全力を尽くしていきたい旨の答弁がありました。

このほか、

- ・障がいのある生徒の就労支援
- ・県立高校における環境教育
- ・児童虐待の防止対策
- ・機動隊新庁舎の概要及び活用

などについても、論議があったことを付言いたします。

以上で報告を終わります。